

田辺かずき 県政報告

福岡発！ただいま
政治刷新中！

第53号

2018年10月発行

<田辺かずき事務所>
〒811-3103 福岡県古賀市
中央 1-6-41-203
TEL : 092-692-8510
FAX : 092-410-7730
メール : challenge@
tanabe-kazuki.jp

【裏面もあります！】
■企業連携で健康増進
■子ども支援の地域力

県と市の連携で経済活性化へ

子育て・教育など定住支援策も

これからの古賀市のまちづくりにとって産業振興はとて重要です。古賀市は都市近郊で自然に恵まれ、農業・商業・工業が息づく、魅力的な地域。九州自動車道のインターチェンジがあり、国道3号線、旧3号線、筑紫野古賀線といった主要道が走り、

JR鹿児島本線の駅が3つある交通の要衝でもあります。「地の利」を生かして工業団地が形成され、工業製品出荷額の食料分野では県内2位を誇ります。

こうした「古賀の力」をさらに高めていくため、企業の誘致を推進し、その前提として市街化調整区域の土地利用転換を

図っていくことが求められます。そこで、福岡県議会の9月定例会（9月7日～10月12日）の本会

議・一般質問では、産業振興の観点から企業誘致の推進と市町村支援を小川洋知事に提案しました。なお、本会議質問は就任以来連続30回目。私から「市町村が計画するまちづくりの実現に

向けて柔軟に支援をしていくべき。県として、市町村が自らの地域特性を最大限引き出せるよう、将来性が見込める産業の工場等の誘致を確実なものとするため、地区計画の策定や市街化区域への編入による土地利用転換の後押しを」と提起。知事は「（工場等の）立地が可能と判断されるものについて必要な技術的助言を行っていく」と答弁しました。

さらに、私から「市町村の特性・潜在的な力と様々な企業の産業別の成長可能性などを正確につかみ、市町村と企業を適切につないでいくことは、県の重要な役割。こうしたことを踏まえたうえで、市町村と連携し、社会構造が変化する中でも需要が伸びていく産業の企業誘致に取り組んでいく必要がある」と提案しまし

た。知事は、自動車や食料品関連の立地について「大消費地を有し、各地域への輸送網が発達していることなどから、今後本県への立地が期待できる業種」との考えを示し、「県として、社会経済情勢、経済構造の変化と企業動向を的確にこれを見極めながら、市町村としっかりと連携をして、それぞれの地域の強みを活かした企業誘致、これに積極的に取り組んでいく」と表明しました。



小川知事（前列左から2人目）に産業振興策を提起

私たちがの幸せの原点は、生きたいように生きていくこと。そのためには、働く場があり、安心して暮らしていける環境が整備されていなければなりません。

田辺の政治活動を 連日発信中！

田辺かずき で 検索

- ブログ
- ホームページ
- facebook
- Twitter

<http://ameblo.jp/tanabe-kazuki/>
<http://www.tanabe-kazuki.jp/>
<http://www.facebook.com/kazuki.tanabe>
 アカウント→@tanabe_kazuki

ません。つまり、産業振興策と雇用政策、子育てや教育、医療・介護などの体制を整備する定住支援策が重要です。こうしたことを強く意識して今後も活動してまいりますので、よろしくお願いいたします。

「企業連携」で健康づくり推進 — 「歩く王決定戦」を紹介

知事「古賀市の先進事例を共有」

ヘルス・ステーションから成果も

福岡県議会の9月定例会本会議の一般質問では、これまで提案を続けてきた健康づくりの推進について、さらに県の政策を前進させるため「企業との連携」を提案しました。

古賀市が市内の企業さんを巻き込んで実施した職域対抗のウォーキングイベント「歩く王決定戦」が実効性を上げていくことを決定し、知事は「職場単位でチームを作り歩数の合計を競い合い、従業員の方々が楽しみながら参加でき、健康が職場の共通の話題となるなど、従業員一人ひとりの健康意識の高まりに有効」と高く評価。そのうえで、「古賀市のように行政と企業が連携し、同時に複数の企業がそれに参加し連携するといった先進的な取り組みについて共有していきたい」と述べ、県内企業をはじめ様々な主体で構成する「ふくおか健康づくり県民会議」などを通じ、広げていく考えを示しました。

福岡県議会の9月定例会本会議の一般質問では、これまで提案を続けてきた健康づくりの推進について、さらに県の政策を前進させるため「企業との連携」を提案しました。

古賀市が市内の企業さんを巻き込んで実施した職域対抗のウォーキングイベント「歩く王決定戦」が実効性を上げていくことを決定し、知事は「職場単位でチームを作り歩数の合計を競い合い、従業員の方々が楽しみながら参加でき、健康が職場の共通の話題となるなど、従業員一人ひとりの健康意識の高まりに有効」と高く評価。そのうえで、「古賀市のように行政と企業が連携し、同時に複数の企業がそれに参加し連携するといった先進的な取り組みについて共有していきたい」と述べ、県内企業をはじめ様々な主体で構成する「ふくおか健康づくり県民会議」などを通じ、広げていく考えを示しました。

子どもたちの学びと育ちを地域で支える



古賀市内の各地域で子どもたちの学びと育ちを支える活動が取り組まれています。今後の政策形成につなげるため、こうした現場を

タイの高校生の思いを 豪雨被災地へ

西日本豪雨の被災地を思い、タイの高校生たちが描いた絵を現地へ受け取りました。PRAY FOR JAPAN——。私たち一人一人が世界とつながり、手を取り合い、支え合って生きていることを実感します。

豪雨の直後、タイの高校生の日本語教育サポーターとして赴任している古賀市出身の女性から私に連絡が入りました。「生徒たちが被災地の皆さんを励まそうと絵を描きました。この思いを届けたい」。そこで、8月、私が事務局長を務める福岡県タイ友好議員連盟としてバンコク市内のワット・ヌアンラディット高校を訪問。同校では130人が日本語を学んでいます。私たちから被災の現況などをお伝えし、生徒さんから「思い」が込められた絵や大きな横断幕をいただきました。

その後、絵と横断幕は、福岡県職員が支援に入っている愛媛県宇和島市に届け、市長さんからも感謝のお手紙をいただきました。また、福岡の皆さんにも日タイ交流の意義を広く知ってもらうため、県庁ロビーでも展示しました。今後も国際交流と多文化共生にしっかり取り組んでいこうと、私も決意を新たにすることができました。



タイの高校生たちが描いた横断幕を囲んで
=8月8日、バンコク都

地元企業さんの魅力を 古賀市内外に発信！

地元の魅力的な産品を古賀市内外の多くの人に知ってもらうことも政治家の大切な仕事です。古賀市の増田桐箱店さんが9月に東京・代官山で新作発表展示会を開催し、私も応援で駆けつけました。福岡県物産観光展示「福岡よかもんひろば」でも展示し、米園でも販売されている米びつをはじめ海外にも進出している魅力的な作品がそろっており、注目を集めていました。引き続き、地元の

古賀市内各地で 対話集会を開催中！



対話集会を古賀市内の各地域で開催しています。県議会での私の質問と知事の答弁を踏まえ、私が考えるこれからのまちづくりの方向性や県と市が連携する重要性についてお伝えし、多くの皆さんからご意見やご要望をいただいています。お近くで開催の際はぜひご参加ください！



中小企業さんの取り組みをどんどん後押ししていきます！

田辺かずき事務所からのお知らせ

【対話集会を開催】

私の政治活動は県民の皆さんの「声」があってこそ。各地の公民館で対話集会を開催しており、ご連絡をいただければサークル活動などにも足を運び、活動報告と意見交換をさせていただきます。事務所(092-692-8510)まで。

【県政報告書の発送】

ブログやフェイスブックなどによる連日の情報発信に加え、紙ベースの報告書(1~2か月に1回のペースで発行)で活動をお伝えしており、ご希望の方には郵送させていただきます。事務所(092-692-8510)までご連絡ください。

<田辺かずき プロフィール>

- 1980年 5月16日生まれ
- 1987年 暁の星幼稚園 卒園
- 1993年 花鶴小学校 卒業
- 1996年 古賀中学校 卒業
- 1999年 福岡県立福岡高校 卒業(高51回)
- 2003年 慶應義塾大学法学部法律学科 卒業
- 毎日新聞社 入社、福井支局 配属
- 2006年 大阪本社社会部 配属
- 2011年 福岡県議会議員 初当選
- 厚生労働環境委員会(～13年)
- 国際交流推進対策調査特別委員会(～13年)
- 2013年 新社会推進商工委員会(～15年)
- 防災及びエネルギー・水安定供給調査特別委員会(～15年)
- 2015年 福岡県議会議員 2期目当選
- 広域行政推進対策調査特別委員会・副委員長(～17年)



- 【所属】福岡県議会・農林水産委員会
- 同・スポーツ振興・国際交流推進調査特別委員会
- 同・タイ友好議員連盟事務局長
- 同・スポーツ議員連盟幹事
- 福中・福岡同窓会顧問
- 古賀寛成館高校後援会名誉顧問
- 【家族】会社員の妻、11歳の長男、8歳の長女
- 古賀東小学校PTCA前会長 (PTCA=PTA+地域のC)